

## 研究に関するお知らせ

### 腹膜偽粘液腫に対する手術治療後の治療成績に関する検討

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 大腸肛門外科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

#### ■研究目的・方法

目的：腹膜偽粘液の手術治療においては、何が治療成績（術後合併症の発生や今後の再発、生存期間など）に関与するのかまだ十分に解明されていません。この研究ではそれを明らかにすることを目的としています。

方法：当院で腹膜偽粘液腫の手術治療を受けられた方の診療記録から様々なデータを抽出して、生存期間や再発までの時期などの長期成績および、手術後の合併症や機能障害といった短期成績に影響を及ぼす因子について解析・検討を行います。

意義：この研究の結果によって、患者さんの病態に合わせて最も有効だと考えられる治療法の選択を行うことを可能にしたり、合併症の予防や再発率の低下、生存期間の延長など治療成績を改善したりすることが期待されます。

#### ■研究期間

理事長承認日～2032年2月28日

研究期間中、5年ごとに研究の継続について倫理審査委員会にて審査を受けます。

#### ■研究の対象となる方

2012年3月以後、2029年2月までに当院で腹膜偽粘液腫に対して手術治療を受けられた20歳以上の方

#### ■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報（経過記録、諸検査結果、手術記録ほか）などを、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

#### ■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する

る資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ 交付場所

資料の交付は外科外来で行います。あらかじめ下記にご連絡をいただき、お渡しする日時を予定させていただきます。

■ 個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。

ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ 研究体制：

機関名： 国立研究開発法人国立国際医療研究センター

○ 研究責任者

大腸肛門外科 科長 清松 知充

○ 研究協力者

大腸肛門外科 常勤医師 大谷 研介 (連絡担当者)

大腸肛門外科 常勤医師 出口 勝也

大腸肛門外科 常勤医師 合田 良政

大腸肛門外科 常勤医師 永井 雄三

■ お問い合わせ先

実施機関名	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
担当者	大腸肛門外科 常勤医師 大谷 研介
電話番号	03-3202-7181 (代表) 内線：4737
受付時間・曜日	月～金： 8:30～17:00